



東証JASDAQ上場
2020年5月25日

各 位

会 社 名 八千代工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 山口 次郎
(コード番号 7298 JASDAQ)
問合せ先 常務執行役員 管理本部長 三島 清憲
(電話番号 04-2955-1211)

減損損失の計上及び2020年3月期通期連結業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)において、減損損失を計上するとともに、2019年10月31日に公表しました業績予想と本日公表の決算実績につきまして、下記の通り差異が生じたため、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の内容

親会社(当社)及び子会社が保有する固定資産の一部について、継続的な営業損失の見通しを踏まえ、当該資金生成単位(資産グループ)の回収可能価額を見直した結果、帳簿価額を下回ることとなったため回収可能価額まで減額し、3,842百万円を減損損失として計上しております。

2. 業績予想との差異について

2020年3月期通期連結業績予想と実績の差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	157,000	5,300	5,000	1,600	200	8.33
実績(B)	154,629	992	807	△ 1,838	△ 3,169	△ 131.97
増減額(B-A)	△ 2,371	△ 4,308	△ 4,193	△ 3,438	△ 3,369	△ 140.30
増減率(%)	△ 1.5%	△ 81.3%	△ 83.9%	—	—	—
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	161,160	701	928	△ 1,697	△ 4,335	△ 180.51

差異の理由

売上収益につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う主要顧客の生産休止影響などにより業績予想を下回ることとなりました。

利益につきましては減収による減益に加え、親会社(当社)及び子会社において減損損失を計上したことなどにより、営業利益、税引前利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益ともに業績予想を大幅に下回ることとなりました。

以 上